



2050年CO2排出量実質ゼロに向けて「再生可能エネルギー100%電気」 お城で全国初！ 官民一体で福知山城からSDGsを発信！

1 福知山城にも「再生可能エネルギー100%電気」供給開始！

本市では、世界的な気候変動対策や脱炭素社会、SDGsの動きに呼応し、福知山城で使用する電気を令和2年10月分から原則、再生可能エネルギー由来の電気（CO2排出量実質ゼロの電力）に切り替えます。

今後「つくる」「とどける」「つかう」「ひろげる」をキーワードに、市内の再生可能エネルギーの普及拡大、エネルギーの地産地消、地域の課題解決、気候変動対策、経済の域内循環など、関係機関が連携して官民一体で地域の社会問題および経済問題の解決につなげ、豊かで自立した持続可能な地域社会の実現をめざします。

※ライトアップを含め、再生可能エネルギー100%を常時使用している天守閣のある城は、福知山城が全国初になります。

※ 令和2年4月より市庁舎、市内小中学校、公民館等も再生可能エネルギー由来の電気に切り替えています。



※ 本市は平成31年4月23日に「福知山市クールチョイス宣言」を行い、脱炭素社会に貢献できる行動、サービス、商品などを賢く選ぶ「クールチョイス（賢い選択）」を市民に呼びかけています。今年度も福知山城等をモチーフにした脱炭素型の未来・SDGsが楽しく学べるオリジナル教材冊子「未来への挑戦」を作成し、市内の小学4年生(694人)全員に9月末頃から配布します。



福知山城天守閣&福知山城夜間ライトアップ
(日没~21時)もCO2フリー電気に



2 福知山イル未来と2020「明かき光」のエネルギー

夜の福知山城も、10月1日から劇的に変化します。天守閣ライトアップ（日没~21時）は100%再生可能エネルギーに。また11月3日までの1か月間、福知山青年会議所などが主催で、福知山城一帯の夜間プロジェクションマッピング「福知山イル未来と2020『明かき光』もはじまります。こちらも初の試みで、トヨタプリウスPHV由来電力使用イベントです。

▼再生可能エネルギー100%

○福知山城天守閣ライトアップ（担当=福知山市）

▼トヨタプリウスPHV由来電力50%、再生可能エネルギー50%

○福知山周辺のプロジェクションマッピング

イベントのテーマの一つが「減災×アート」。プロジェクションマッピングの使用電力の半分に、非常時にも使用できるトヨタプリウスPHV由来の電気をういています。

*非常時の電気自動車の電力供給は、福知山市が今後進めていく取組のひとつ。

「SDGsに呼応した持続可能なまちに」は「新時代 福知山」7つのまちづくりのひとつ。本取組のように、現代技術とパートナーシップで、未来に向かってしなやかに変革を続けていきます。

まちのシンボル福知山城を見るたびに、SDGsについて思いを馳せていただけたら幸いです。